

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

- ㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより
発行者 校長 梶山 崇

令和3年12月1日(水) 12月号
〒339-0006 さいたま市岩槻区上里2丁目2番地 Tel.048-794-2316

行事、行事の11月でした

校長 梶山 崇

12月に入りました。寒い日が続いていますが、子どもたちは元気です。11月中は校外学習、校内持久走記録会、校内音楽会とたくさんの行事を行いました。9月の政府による埼玉県への緊急事態宣言により、9月に実施する校外行事も11月に実施させていただきましたので、11月に行事が集中しました。今回は紙面の関係で、私が引率した校外行事を中心に紹介させていただきます。

11月2日には、4年生の社会科見学で利根大堰と埼玉県防災学習センターを訪問しました。子どもたちには、「写真や動画を見るだけでは体験できないことをぜひ、五感(目、耳、鼻、舌、皮膚)を使って体験してください」と出発前に言いました。利根大堰の見学では、利根川の広さとともに、「私たちが普段家庭や学校で使っている水がどのような経路をたどって私たちの地域までやってくるか」や、「見沼代用水のはじまりの部分」を見ることができました。また、埼玉県防災学習センターでは、実際に震度7の体験をしたり、消火器の使い方を学習したり、災害に備える心構えについてアニメーションを見て学んだりしました。子どもたちの表情を見ると、子どもたちなりに今後の安全な生活について考えていたように見受けられました。入館時に防災センター職員による非接触体温計による検温、体験活動が終了するごとに手指消毒をするなど感染症対策も徹底されていました。

続いて11月9日、10日には修学旅行で日光市を訪問しました。1日目はあいにくの雨となってしまうりましたが、3つの滝(華厳の滝、湯滝、竜頭の滝)の見学、それから急に予定を変更して入館した日光自然博物館での見学など子どもたちは急な予定変更にもかかわらず、前向きに臨機応変に対応してくれました。2日目は、最初に東照宮を見学しました。各地の小学校の修学旅行生がたくさん訪問していました。そのため、東照宮内は混雑していて、迷子になってしまう可能性もありました。そのような中でも子どもたちは案内のガイドさんの話に耳を傾け、陽明門、卸本社、奥宮(徳川家康のお墓)等各社殿で熱心に見学していました。いろいろな場面で臨機応変に対応できるあたりは、「さすが6年生」と思いました。最後の日光彫り体験では「世界に1つだけ」の日光彫りを造りました。6年生にとってはコロナ禍ではありますが、修学旅行を通じてさまざまな体験をすることができ、子どもたちの思い出の1ページとなりました。

その他、紙面では紹介できませんでしたが、校内持久走記録会も校内音楽会も子どもたちががんばる姿を見られて本当に幸せな気持ちになりました。校長室からは子どもたちが校庭を走っている様子、中庭で歌っている様子を垣間見ることができ、本当によい気持ちになりました。すべての活動が実施できたのも保護者のみなさまのご理解・ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最後に、9月8日に文部科学省から体験活動の効果等の分析結果が発表されました。それは、「小学生の頃に体験活動(自然体験、社会体験、文化的体験)や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情等の項目の得点が高くなる傾向が見られました」ということです。新型コロナウイルス感染症の影響で体験活動の実施はまだまだ難しい面もありますが、お手伝い、読書などはこれからも積極的に行ってほしいと思います。今月も本校の教育活動にご支援をお願いいたします。